



2025

SPRING LEAGUE



**KEIO UNIV.
VOLLYBALL TEAM**

<https://keiovb.com/>

KEIO VOLLYBALL

TABLE OF CONTENTS

選手紹介 01~03

新入生紹介 04

新入生募集のお知らせ 05

早慶戦情報 06

SPROUT CAMP 試合写真 07

主将×副将 対談 08~09



PLAYERS

ROSTER



主将
4年 L
1 山元 康生
Kosei Yamamoto

出身校 慶應義塾 身長 172cm
学部 法学部法律学科 最高到達点 319cm



2年 OH
2 清水 悠斗
Yuto Shimizu

出身校 習志野 身長 185cm
学部 総合政策学部 最高到達点 337cm



2年 L
3 緒方 哲平
Teppei Ogata

出身校 日向学院 身長 174cm
学部 環境情報学部 最高到達点 315cm



2年 L
4 今田 匠海
Takumi Imada

出身校 慶應義塾 身長 170cm
学部 法学部政治学科 最高到達点 315cm



主務
4年 OH
5 山木 柁
Shu Yamaki

出身校 慶應SFC 身長 173cm
学部 文学部 最高到達点 327cm



3年 OH
6 山口 快人
Kaito Yamaguchi

出身校 慶應義塾 身長 185cm
学部 経済学部 最高到達点 341cm



1年 MB
7 中村 玲央
Leo Nakamura

出身校 福大大濠 身長 195cm
学部 総合政策学部 最高到達点 335cm



3年 MB
9 松山 鼓太郎
Kotaro Matsuyama

出身校 慶應義塾 身長 190cm
学部 商学部 最高到達点 332cm



3年 OH
10 野口 真幸
Masaki Noguchi

出身校 慶應義塾 身長 178cm
学部 商学部 最高到達点 331cm



副将
4年 L
11 入来 晃徳
Akinori Iriki

出身校 佐世保南 身長 187cm
学部 環境情報学部 最高到達点 348cm



1年 L
12 重枝 良政
Yoshimasa Shigeeda

出身校 慶應SFC 身長 173cm
学部 経済学部 最高到達点 -



1年 S
13 松田 悠冬
Yuto Matsuda

出身校 慶應義塾 身長 192cm
学部 商学部 最高到達点 332cm



4年 S
15 久保田 健介
Kensuke Kubota

出身校 慶應SFC 身長 168cm
学部 商学部 最高到達点 310cm



4年 L
17 平山 一之心
Kazunoshin Hirayama

出身校 甲南 身長 173cm
学部 商学部 最高到達点 319cm



副務
3年 MB
18 林 航大
Kodai Hayashi

出身校 慶應義塾 身長 182cm
学部 商学部 最高到達点 321cm



2年MB
22 稲井 正太郎
Shotaro Inai

出身校 慶應義塾 身長 186cm
学部 法学部法律学科 最高到達点 335cm



2年OH
24 玉島 弘之
Hiroyuki Tamashima

出身校 春日部 身長 180cm
学部 文学部 最高到達点 320cm



2年S
26 岩間 祥成
Shosei Iwama

出身校 成城 身長 173cm
学部 環境情報学部 最高到達点 326cm



2年OH
29 林 賢治
Kenji Hayashi

出身校 慶應NY 身長 179cm
学部 経済学部 最高到達点 314cm



2年MB
30 小山 啓太
Keita Koyama

出身校 慶應義塾 身長 180cm
学部 商学部 最高到達点 325cm

STUDENT STAFF



4年アナリスト
一木 脩平
Shuheichi Ichiki

出身校 慶應義塾 身長 170cm
学部 法学部法律学科



4年 渉外主務
河村 歩奈
Ayuna Kawamura

出身校 慶應SFC 身長 158cm
学部 経済学部



3年アナリスト
鋤塚 凜
Rin Kuwatsuka

出身校 刈谷 身長 168cm
学部 商学部



3年 中等部コーチ
熊谷 健太
Kenta Kumagai

出身校 慶應義塾 身長 180cm
学部 商学部 最高到達点 320cm



3年 学連委員
佐藤 かれん
Karen Sato

出身校 長野 身長 169cm
学部 商学部



2年アナリスト
石原 猛
Takeru Ishihara

出身校 慶應SFC 身長 172cm
学部 法学部政治学科



2年アナリスト
長坂 遥大
Haruto Nagasaka

出身校 慶應義塾 身長 185cm
学部 商学部



2年アナリスト
三浦 安慈
Anji Miura

出身校 慶應義塾 身長 169cm
学部 経済学部



2年 学連委員
田淵 美里
Misato Tabuchi

出身校 国府台女子学院 身長 156cm
学部 法学部政治学科



2年 渉外副務
渡邊 莉子
Riko Watanabe

出身校 大宮開成 身長 160cm
学部 文学部

COACHING STAFF

部長
宮垣 元
Gen Miyagaki

総監督
藤澤 昌彦
Masahiko Fujisawa

監督
星谷 健太郎
Kentarō Hoshiya

マネージャーアドバイザー
岡本 諒大
Ryota Okamoto

チームドクター
鈴木 陽太
Yota Suzuki

メンタルトレーナー
辻 秀一
Shuichi Tsuji

**FOR
MORE
INFO...**

Email : keiovb@hotmail.com

HP : keiovb.com

X(旧Twitter) : @keiovb

Instagram : @keio_official_volleyball

HPや各種SNSはこちらから→



新1年生紹介



4月から新しく塾バレー部に
加わった3名に
インタビューしました！



重枝 良政 (経1・L) 慶應SFC出身

- Q1 入部した理由は？
本気でバレーをしたかったから
- Q2 4年間の目標は？
攻守どちらにおいても穴のないオールラウンダーになる
- Q3 憧れの先輩は？
内田克弥(2025年卒・OH)
- Q4 チームで活かしたい自分の武器は？
ディグ
- Q5 塾バレー部の魅力を一言で！
雰囲気良く、楽しみながら技術を磨けるところ！



中村 玲央 (総1・MB) 福大大濠出身

- Q1 入部した理由は？
楽しそうにバレーしている姿を見て
- Q2 4年間の目標は？
日本一
- Q3 憧れの先輩は？
清水悠斗(総2・OH)、松山鼓太郎(商3・MB)
- Q4 チームで活かしたい自分の武器は？
ブロック
- Q5 塾バレー部の魅力を一言で！
最後まで諦めないところ



松田 悠冬(商1・S) 慶應義塾出身

- Q1 入部した理由は？
自分の目標のため
- Q2 4年間の目標は？
有意義な時間を過ごす
- Q3 憧れの先輩は？
三浦安慈(経2・アナリスト)
- Q4 チームで活かしたい自分の武器は？
高さのあるプレー
- Q5 塾バレー部の魅力を一言で！
みんなやさしい

彼らの今後の活躍にご注目ください！！

プレーヤー・スタッフ募集中 見学・体験大歓迎



○紹介

慶應バレー部は、関東13部ある中で現在2部リーグに所属しています。

「1部リーグ復帰」

「文武両道を体現する第一人者として、バレーボール界を牽引する」
の2つの目標を掲げて、日々練習やトレーニングに取り組んでいます。



○年間スケジュール

4・5月	春季関東大学リーグ戦
6月	東日本インカレ
7月	早慶バレーボール定期戦(早慶戦)
8月	夏合宿
9・10月	秋季関東大学リーグ戦
11月	全日本インカレ
12・1月	納会
2・3月	春合宿

○部員構成

<ポジションの内訳>



<学部の内訳>



<部員の生活状況>



あなたのその熱意を待っています。

慶應バレー部には選手に加えて、
チームを支えるたくさんのチームスタッフがいます。

選手・スタッフ問わず、私たちと一緒に
本気で日本一を目指したいと思ったそのあなた！
いつでも連絡待っています！

部員数：30名

練習場所：日吉記念館
(蝮谷体育館の場合もあり)

練習時間：約3時間

活動日：火水木金土日

ご連絡はこちらから▶▶

Email : keiovb@hotmail.com
HP : keiovb.com
X(旧Twitter) : @keiovb
Instagram : @keio_official_volleyball



早稲田大学男子バレーボール部
前田凌吾



慶應義塾体育会バレーボール部男子
山元康生



慶應義塾体育会バレーボール部女子
倉員未羽



早稲田大学女子バレーボール部
山崎葵

第89回 早慶バレーボール定期戦

2025年
6月8日 日

会場：慶應義塾大学日吉記念館

その他詳細情報は
大会公式SNSから→



主催：慶應義塾体育会バレーボール部  早稲田大学バレーボール部 

Sprout Camp



3月15、16日に慶應義塾大学日吉記念館にて関東の8大学が集まり、SPROUT CAMP(大学バレー新人強化合宿)が開催されました。
エキシビジョンマッチの要素を含んだ今大会では、普段のリーグ戦とは違った部員たちの姿を皆様にお見せできたと思います。ご来場くださった皆様、そして配信を通じて応援して下さった皆様に改めてお礼申し上げます。選手たちの奮闘する姿を少しばかりですが共有させていただきます！



対談 企画

山元康生 × 入来晃徳

昨年は関東二部降格・残留という結果に涙を呑んだ塾バレー部。
今回は悲願の“一部復帰”に向け、チームを引っ張る主将副将の二人
山元康生（法4・慶應）と入来晃徳（環4・佐世保南）による
対談をお届けします。



——原点に戻って、バレーボールの魅力を教えてください！

入来：OPというポジションの魅力だと思うのは、仲間が繋いでくれたボールを決め切ることができることです。「仲間の想いを形にする」ポジションだと思うので、そういったところに魅力はあるかなと思います。

山元：大学バレーの魅力になりますけれど「派手でカッコいい」ところだと思います。みんなが高さも力もあるので、一つ一つのプレーがダイナミックで、そこは観ていてすごく力もらえるのではないかなと思います。バレーボールのもう一つの魅力は、6人が3タッチで繋いで1点を取りにいくところだと思います。全員が繋いで、繋いで、最後にエースが決め切るという1点の中にも、チームの仲の良さとかいろいろなものが含まれているかなと。ダイナミックさと、チームスポーツならではの魅力をすごく感じられるスポーツだなと思います。

——塾バレー部独自だなと思う部分は？

山元：独自だなと思うところは「主体性」です。基本的には練習メニューも学生で決めています。このチームにとって、目標達成のために何が必要なかを考えながら、工夫して練習をしていく。自分たちで意見を出し合いながら試行錯誤して形にできているというのが独自なところなのかなと思います。他にもこのチームのテーマとして「個と個の繋がりを深めて結束力の高いチームを作りたい」というのがあるので、縦割り班・同期間・ポジション間の関係が密になるよう取り組んでいます！

——入来選手は大学から慶應に入られました、塾バレー部に入ってみて感じたことはありますか？

入来：例えば前年まで大昭さん（＝前主将・渡邊大昭）という先輩がいたり、側から見たら一人の力で決め切る「大エースバレー」みたいに見えるかもしれないですけど、実際にチームに入ってみると高いレシーブ力で攻撃に繋げる選手、チームを支えてくれているスタッフの存在の大きさを実感して、外から見るとは違う印象を抱きました。

——山元選手は主将になって感じたことはありますか？

山元：実際に主将をやってみると、やっぱり先頭に立つのは難しくて。堂々としていなければいけないし、組織の顔として動かなければいけないし、迷いがあるとそれが不安として出てきてしまうし、トップが揺らぐと組織が崩れてしまう。そこを大昭さんは感じさせなかったし、「大昭さんのチーム」が出来上がっていたなと思います。自分も自分なりにはなるかもしれないけれど「山元康生のチームだよね」と言ってもらえるような振る舞いだったりとか、行動を心がけています。

——練習の中で意識していることは？

山元：主将として、部員一人ひとりが「目標を持ってバレーボールに取り組んでいるか」を見ながら練習しているのかなというのは感覚としてあります。

入来：チームマネジメントの考え方として「相手は自分の鏡」と思っているの、やはり自分がしっかりやっていたら相手もきちんとやってくれるのかなと思っています。だからこそ「1日1日を無駄にしたくない」という思いが強くあります。ありきたりな言葉ではあるけれど、サブ一つでも、打ち方一つでも、ひとつひとつにフィードバックの意識を持って次のプレーに活かすということを徹底しています。そういった点で「時間を大切にする」というところは意識しています。

——自主練を大切にされている印象がありますか？

山元：30分以上は自主練ができる時間を取るようにメニューを組んでいます。部員それぞれが自分の課題に向き合ってほしいという思いがあります。先ほどの主体性の話と重なりますが、自分で何が足りないかを考えて、自由な時間に自分の練習をしてほしいと思っています。

——入来選手が自主練の中で意識されていることは？

入来：チームの最高学年なのでしっかりバレーボールに向き合うという意味もありますし、康生も言ってくれていたように「自分の弱点に向き合う」ということも意識しています。練習ごとにいろいろな課題が見つかるので、それに対してしっかり向き合える時間があるのは大きいかなと思います。



——改めて、チームとしての目標を教えてください！

山元：「関東一部リーグ復帰」です。もうこれしかない。春にやるしかないと思っています。結果にとらわれるのはあまり良くないですけど、先ほども入来と話していて「関東一部復帰のために」正しい行いなのか、正しい練習なのか、臨み方なのか、姿勢なのか、はこれからとことん追求していかなければいけないかなと思っています。そこは最上級生がしっかり引っ張っていかなければいけないですし、後輩たちのやる気とモチベーションも維持していかなければいけないという役割があると思います。

——山元選手にとって関東一部とは？

山元：僕にとって関東一部は「挑戦の場」なのかなと思っています。正直、僕はエリートではない。JOCに選ばれているわけでもなければ、高校でずっとスタメンを張っていた選手でもない中で、他大学の選手はみんな有名な選手だったり春高とかで活躍していた選手。そんな舞台上、選手の1人としてプレーできることはすごく幸せなことですし、僕にとっては常に挑戦しなければならない舞台だと思っています。やっぱり僕もやるからには勝ちたい、上を目指したいという思いがあるからこそ今も関東一部復帰という目標を掲げていますし、チームとしてもよりレベルの高い環境でプレーすることで視野が広がるというのもあると思います。そういう意味で特別な場所ですし、僕にとっては挑戦の場所だと思っています。

——ラストシーズンはどんな1年にしたいですか？

山元：定性的で抽象的ですが「責任と覚悟」という一言で頑張っていきたいと思っています。学生の集大成、バレーボール人生の集大成として、今まで自分が培ってきたものを最大限発揮したいと思っています。やるからには、このチームのため、みんなのために頑張っていかなければいけないし、みんなの力を最大限引き出すためにどうチームに対してアクションを起こしていくかというのが必要だと思います。「責任と覚悟」を持って、組織の先頭に立つ。ただそこはまだ自分に足りていない部分もあるので、成長していきたいです！

——最後に意気込みをお願いします！

入来：ラストイヤー、最後までしっかりやり切りたいなという思いがあります。バレーボールは社会人でやることもないと思うので。そこで思うように結果を残せたとしても、残せなかったとしても、最後に泣くのは違うなという気持ちもあるので、満足してやり切って終われたらいいなと思います。

山元：一部復帰のために全てを懸ける1年にしたいと思っていますし、観てくれるお客さんとか観客の方々が「このチーム魅力的だな」とか「観ていて楽しいな」と思えるような「応援されるようなチーム」を作っていきたいです。自分の集大成としてそこに全てを捧げます。

——ありがとうございました！

インタビュー全文は慶應スポーツ新聞会
ホームページにてご覧いただけます。

下記QRコードを読み取りぜひご覧ください！



GAME SCHEDULE

2025 SPRING LEAGUE MEN'S DIV.2

4月12日(土) 12:00 VS 青山学院大学 亜細亜大学武蔵野キャンパス

4月13日(日) 10:00 VS 立教大学 亜細亜大学武蔵野キャンパス

4月19日(土) 10:00 VS 山梨大学 大東文化大学東松山キャンパス

4月20日(日) 14:00 VS 立正大学 大東文化大学東松山キャンパス

4月26日(土) 10:00 VS 国際武道大学 亜細亜大学武蔵野キャンパス

4月27日(日) 14:00 VS 明治学院大学 亜細亜大学武蔵野キャンパス

5月10日(土) 10:00 VS 山梨学院大学 大東文化大学東松山キャンパス

5月11日(日) 12:00 VS 日本大学 大東文化大学東松山キャンパス

5月17日(土) 12:00 VS 亜細亜大学 大東文化大学東松山キャンパス

5月18日(日) 10:00 VS 中央学院大学 大東文化大学東松山キャンパス

5月24日(土) 12:00 VS 大東文化大学 大東文化大学東松山キャンパス